

読書のすすめ

R3.10.1

2学期が始まり、部活動が制限される中、実力テスト、新人大会、中間テスト等々落ち着かない日々が続いたのではないのでしょうか。今日10月1日からは部活動再開です。



10月は「秋の秋」と言われることがあります。秋は、気候や気温が安定していて過ごしやすい季節です。みなさんにとって、学習や行事、そして部活動など様々な方面で力を発揮することができる時期です。スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋等々、色々言われています。

その1つに読書の秋があります。秋は、じっくり本を読むにもいいときです。読書週間もあります。10月27日から11月9日までの「文化の日（11月3日）」を中心にした2週間です。「本を読むことを積極的にすすめる」期間のことです。

読書は、誰でもどこでも楽しむことができるものですが、みなさんは、学校での朝読書の時間以外に読書していますか。

読書をする中で、これまで知らなかった言葉に出会うことができます。加えて、文章を何度も読むことで正しい言葉の使い方や、並べ方などを覚えることもできます。何より、あらゆるメディアの基礎となる活字に強くなれます。

また、読書が習慣になると、集中できる時間がより長くなると言われています。最後まで夢中になって読み切る経験を重ねることで、集中力を高めていけるそうです。



そして、皆さんも経験があると思いますが、読書をする中で、自分自身が登場人物になりきり、読み進めていくことがあります。登場人物の気持ちに共感したり、まるでストーリーと同じことを自分が体験したかのような感じが持てたりすることで、感動する心、感（受）性が育っていくと言われています。

他にも、コミュニケーション力が向上する、アイデアが得られる、生き方が学べる、視野が広がるなど、様々な効果があると言われていますが、私が一番読書のよさとして感じているのは、貯まったストレスをいつの間にか自然に解消できることです。

錦丘中の皆さんには、この10月、学校のマルチメディアセンターもうまく利用しながら、いい本をたくさん見つけて、読書を楽しんでほしいと思います。